

(参考)

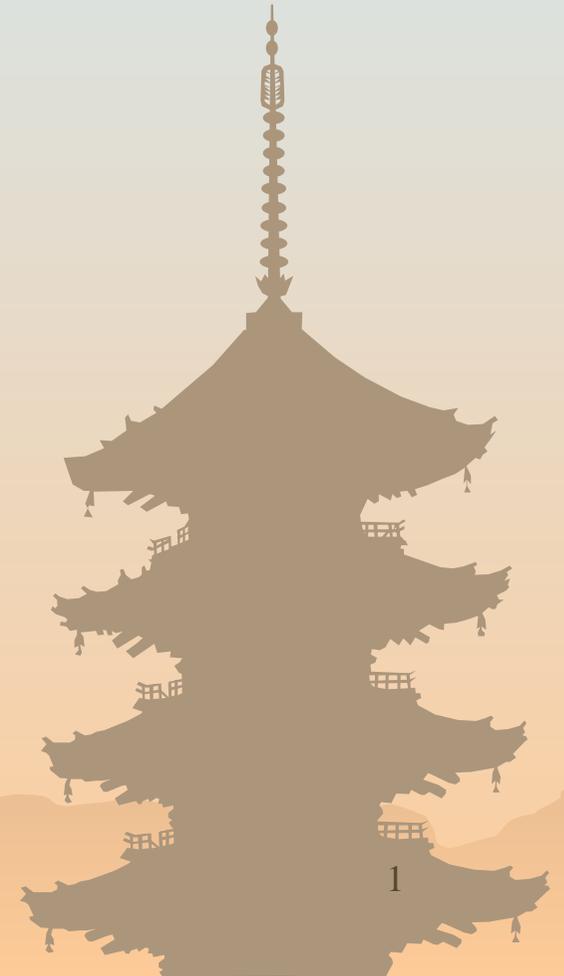
# ユニバーサルデザインとは

次葉から、ユニバーサルデザインを、  
「UD」と記載することがあります。

2004/11/18

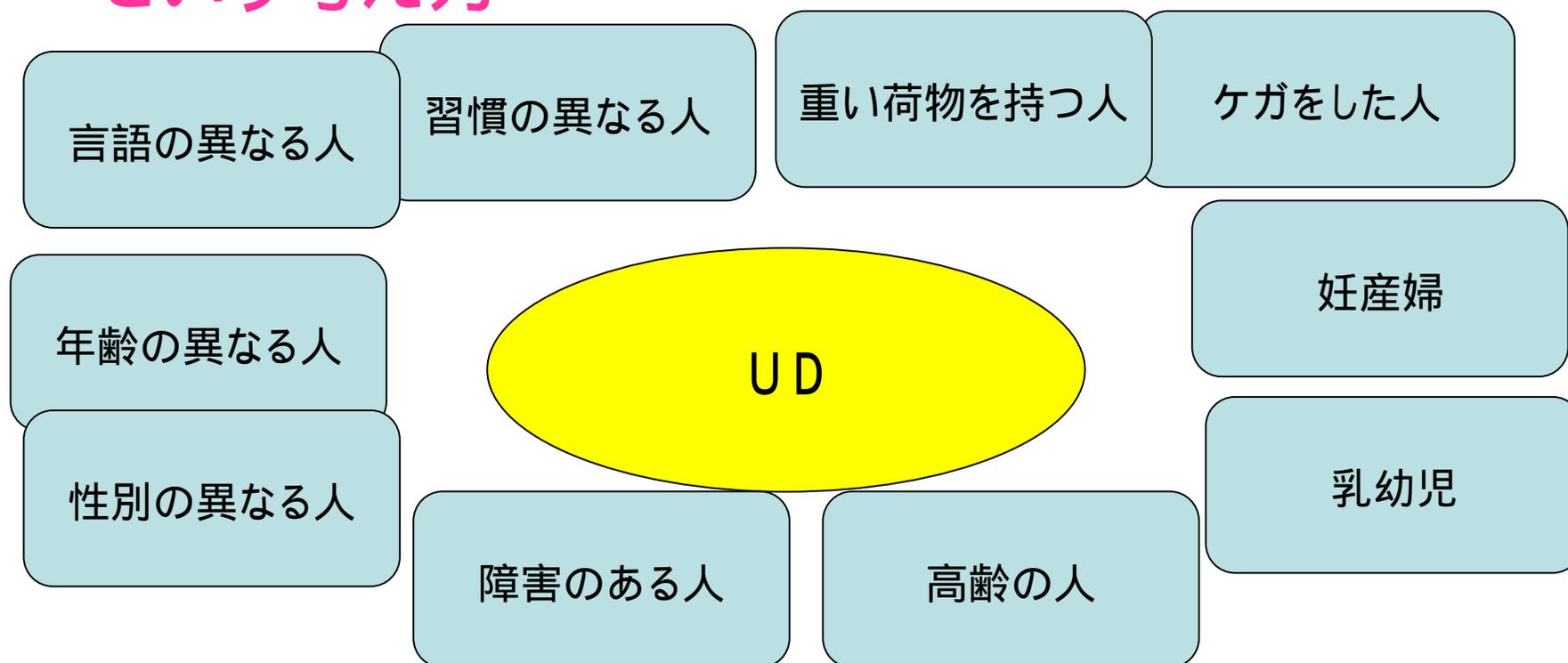
京都市保健福祉局

1



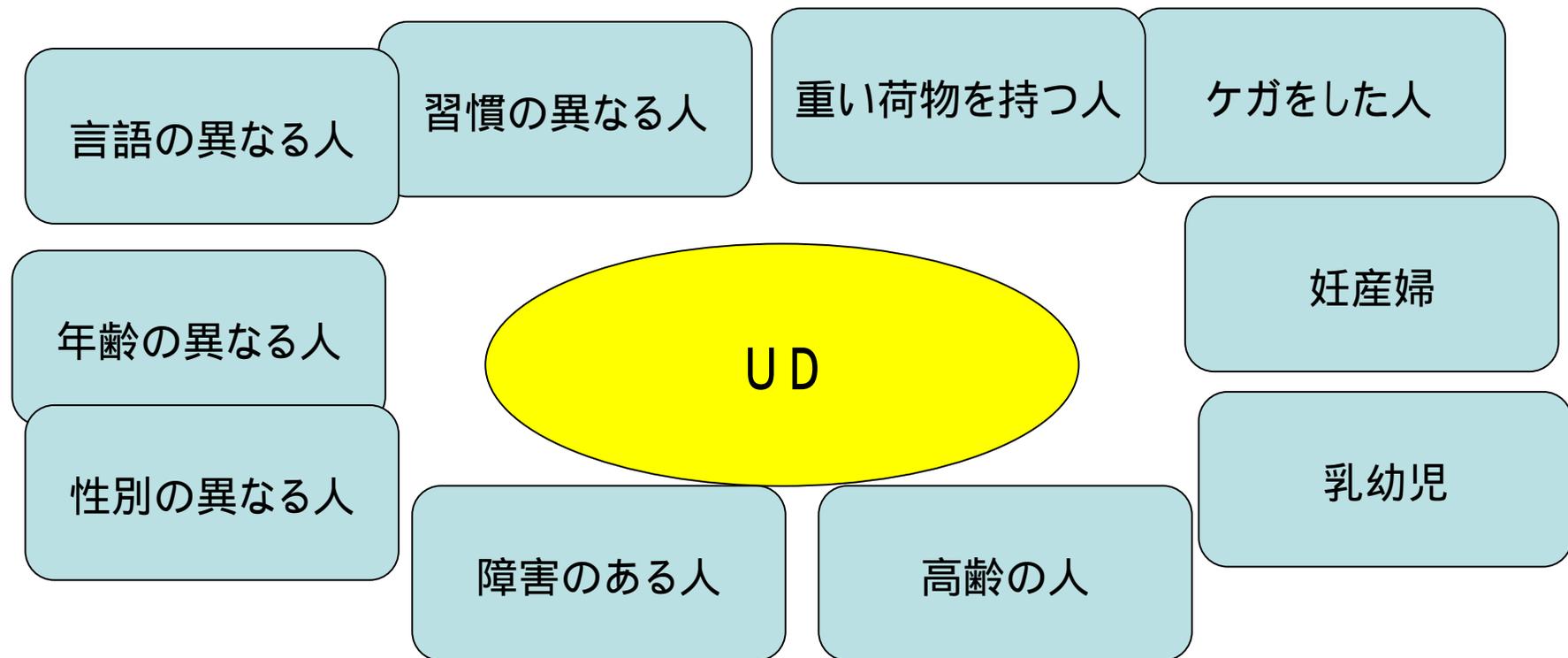
# 1 UDの定義(提唱者:ロン・メイス)

あらかじめ、できる限りすべての人にとって使いやすい製品, 建物, 空間をデザインしておくという考え方



## 2 UDは手段

UDは、一人ひとりの個性が尊重される社会をつくる手段です。



### 3 UDとバリアフリーの違い

UD = あらかじめ、誰にとってもバリアの  
無いように配慮する

バリアフリー = すでにあるバリアを取り除く

## 4 UDの例の1 (容器のギザギザ)

容器表面のギザギザ  
(シャンプーとリンスを  
区別するため)

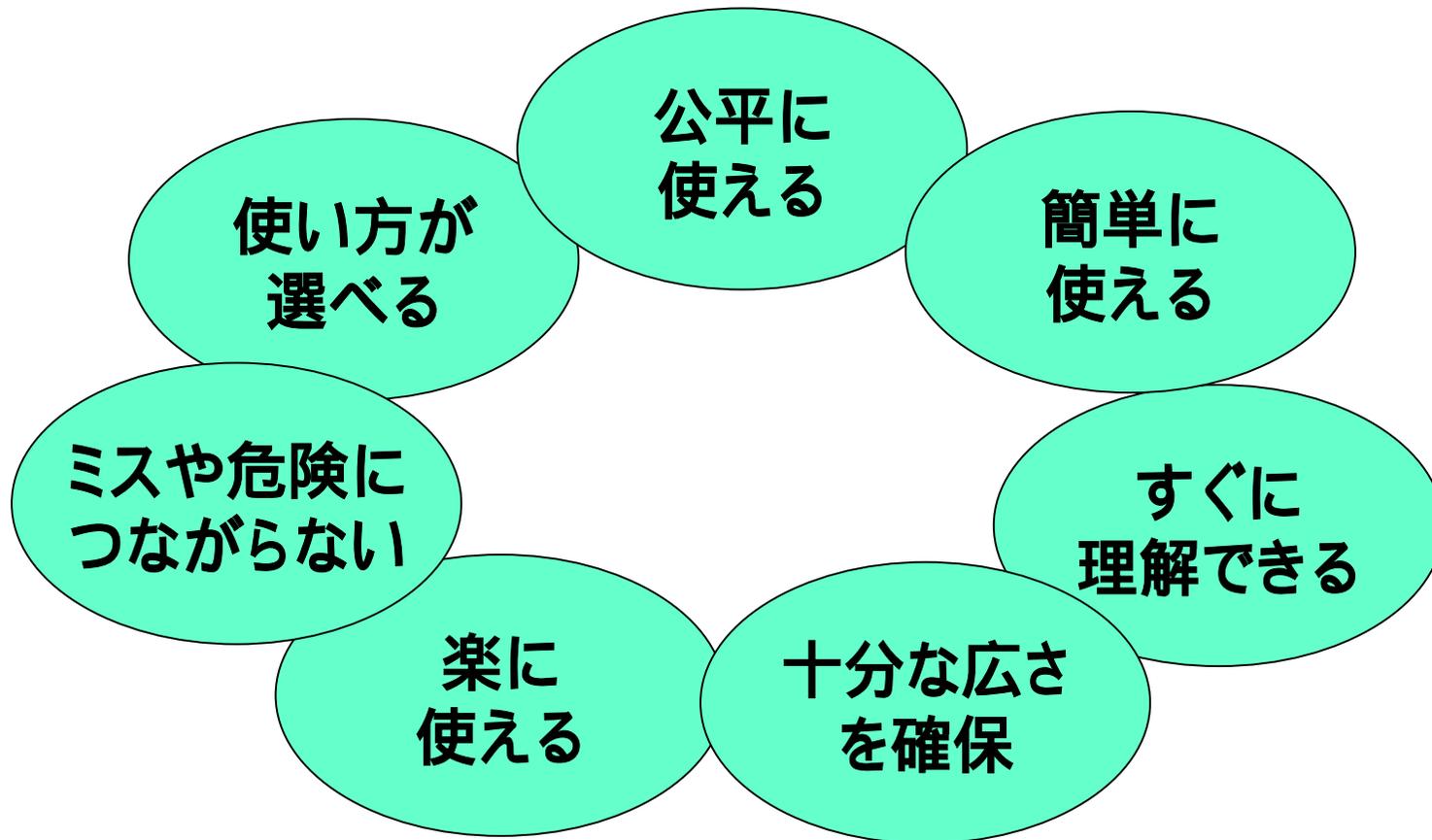
最初は、視覚障害者用

洗髪中の晴眼者にも便利



# 5 UDの7原則

UDには7原則が示されています(ロン・メイス)



# 6 UDの7原則の例1 (すぐに理解できる)

絵文字



# 7 UDの7原則の例2 (楽に使える)

車椅子で接近  
でき、楽な姿勢で  
使える公衆電話

電話台の下に  
空間



## 8 UDの対象領域(例)

(出典:ユニバーサルデザインとは何か 古瀬敏氏編著 都市文化社)

	個人使用	家族使用	公共使用
社会的資本財	(該当なし)	住宅 等	公共的建築物等
耐久消費財	自転車, 電話機 等	自家用車, 住宅設備 等	電車,バス, タクシー 等
消耗品	食器,文房具 等	(該当なし)	(該当なし)

この表のほか、「情報」「サービス」等も対象です。